

ROAD

輝く人たち No.15

PROFILE

まつかわ そのこ
松川 園子 (54)

いろいろな形で子育て支援に関わろうとする、
その思いは尽きない。

- ・子ども支援事業コミュニティ広場 Anne 経営者
- ・地域ボランティア活動に従事
- ・里親会会員
- ・沖縄 LD 児・者親の会 はばたき会員
- ・浦添市子育てアドバイザー、浦添市ファミリーサポートまかせて会員
- ・民生委員（浦西中学校校区主任児童員）

「楽しく子育て」がモットー

お母さんと子どもの優しい味方

「子どもたちは社会の宝です」。そう自信に満ちた声で話すのは子ども支援事業コミュニティ広場 Anne の所長、松川園子さん（54）。自身も5人の子どもと2人の里子を育て、Anne を中心に民生委員や学校ボランティア活動もしている、地域の「お母さん」のような存在です。

「Anne もおかげさまで3年目になりました。今も多くのお母さんたちが利用してくれまます」と笑顔で語ります。その立ち上げには、30年にもわたる松川さんの思いが深く関わっていました。

元々養護教諭だった松川さん。25年間勤務する中で、生徒たちから様々な相談を受けたと言います。相談に来る子どもたちの大半は家族とうまくいかないストレスによる体調不良を訴えていました。「辛そうな顔をした子どもたちから相談を受けているうちに、どうにか笑顔にしてあげたい。子どもたちの親や兄弟を替えることは出来ないけど、私が親として育ててあげたらどうか？」などいろいろな考えようになりました。

そのような思いから松川さんは家族と相談し、里子として乳幼児2人を受け入れることを決めます。「受け入れることに

躊躇はありませんでしたし、とてもかわいくて、実子と同じぐらいの愛情を注ぎました」。

しかし、里子の1人が小学校高学年の時に問題を起こし始めます。「先生に注意されたことがストレスだったみたいです」。軽度の発達障害を抱え、家ではおとなしいのに学校ではまるで別人のように暴れるなど、どうすればいいかわからない状況の中、松川さんは答えを求めて障がい児子育てについて勉強しました。わが子をいろいろないイベントに連れていき、SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）としてスポーツをさせ、一つ一つのステップを踏むことでその子は次第に穏やかになっていきました。「スポーツをさせたときですが、すごくキラキラした笑顔を見せたんです。徐々に変化を見せ、他人にとてもやさしくなってくれました。子どもたちは誰かが見てくれている、寄り添ってくれることがとてもうれしいということがわかりました。今では下級生の子にすごく慕われていると他のお母さんから聞きます」。

退職後もいろいろな形で子どもたちに関わろうと行動する松川さん。小中学校での読み聞かせボランティアや民生委員

も始め、より専門的な知識として各種講座を受講します。

活動を通し、子どもを保育園に預けていないお母さんたちが、家庭保育でもとも悩んでいる現状を見て松川さんはこう思いました。「お母さんたちがリラックスできるような、そして子どもと一緒に幸せになれるような場所があったらな」と。何ができるかと模索していたとき、夫が当山に空き事務所を所有していることを知り、「じゃあ私がこの事務所を利用してその場所を作ろう!」と、子ども支援事業コミュニティ広場 Anne の立ち上げに奮起しました。

経営については素人だった松川さんですが、「お母さんたちのため、子どもたちのため」という思いのもと、試行錯誤を重ね、子育てを楽しんでもらうための場所づくりに徹しました。

その思いが届いたのか、子育てコミュニティ広場 Anne には多くのお母さんたちが訪れます。ヨガやランチでリラックスし、友達同士や松川さんと子育ての話をするなど、盛んに活用されています。子どもの誕生日にはバースデーケーキを用意し、皆で祝うことも。

「子どもたちが心豊かに生活できるように、私も頑張ります。これからもお母さんたちといろんな会話をして、私の経験や知識などを共有していきたいです」と、松川さんは優しいまなざしで子どもたちを見つめました。

あなたもAnneに行ってみませんか？

ゆったりできる間取りで、子どもと一緒にくつろげます。おもちゃもあるので子どもを遊ばせながら、松川さんや他のお母さんたちとお話もできるAnneにあなたも癒されてみてはいかがでしょうか。

子ども支援事業コミュニティ広場 Anne

浦添市当山 2-28-6 まつげん当山ビル 2 階

☎ (988) 9784 (OPEN 10:00~16:00)

※時間外でイベント開催するときもあります

【定休日】日曜日・月曜日・祝日



①松川さんと職員と、気軽に話ができる。②施設内にある親子 cafe 目当てのお客さんも多い。③毎週木曜日に開催される「ありんこクラブ」。ママさん同士の交流だけでなくおもちゃもいっぱいあり、子どもも遊べる。